

# 新型コロナウイルスの収束願い、 昭和村の夜空にも花火

悪疫退散を願い全国各地で一斉に花火が打ち上げられました。  
昭和村でも75発の花火が束の間、夜空を彩りました。

新型コロナウイルスの収束を祈願した、花火の全国一斉打ち上げが6月1日、午後8時からわずか5分間だけ行われ、村でも総合運動公園で75発の花火が上がりました。

「全国一斉悪疫退散祈願 Cheerup! 花火プロジェクト」と名付けられたこの花火は、猛威を振るう新型コロナウイルスに対し「悪疫退散」の願いを込め、日本煙火協会青年部の有志により企画されたもの。全国各地の花火業者が参加して同じ時刻に全国一斉に行われました。

昭和村で打ち上げを行ったのは、桐生市の「灯屋煙火店<sup>あかりやえんかてん</sup>」。人の密集を避けるため、限定的な周知にとどめられた中、会場に訪れた人々が見上げる小雨降る夜空に花火の大輪が輝きました。最後の打ち上げ花火が終わると、拍手と歓声が上がっていました。

